

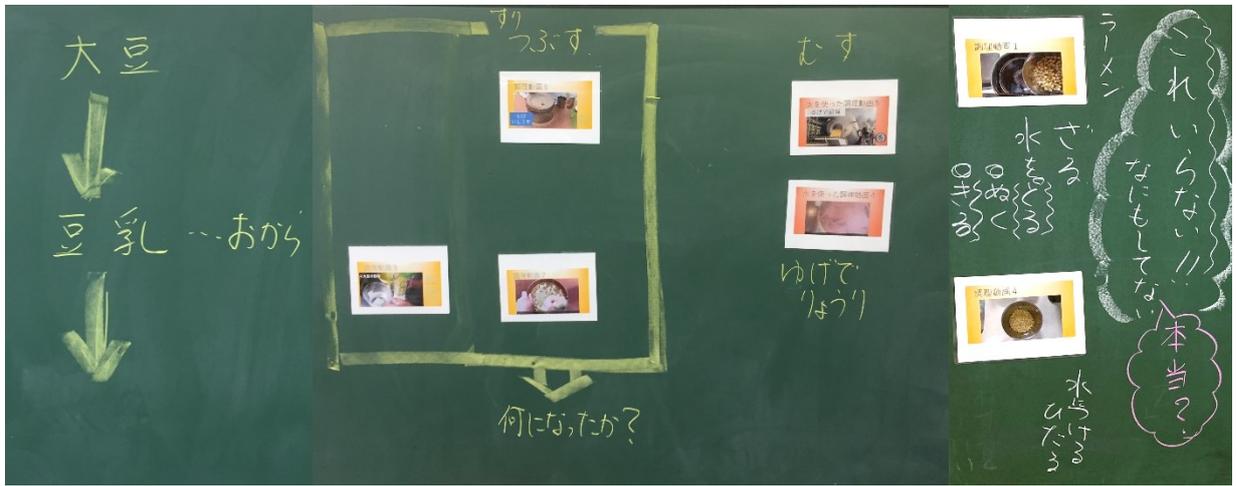
【七月十九日（水） 一時間目】

教材文と出合わせ、単元の最初の学習の意欲づけ、学習課題を設定する。

本学級の国語科では、四月の授業から、学習者が自分達で自己決定する場を多く設定し、見通しをもって計画・活動することを経験させてきた。『きつつきの商売』では、「ペープサート劇づくり」を録画する学習を取り入れた。四時間でペープサートの道具を作り、三時間で録画するという設定で、自分達で調整しながら製作・録画を行った。俳句を楽しもうでは、二週間後に句会を開くことを設定し、それまでに俳句を複数つくって一句提出する活動を行った。授業中に使っている時間や提出までの期間を提示し、自分の方法で学習に向わせることで、少しずつ自分事として捉えられるようになってきている。計画や見通しは、まだ苦手な児童も多いが、このような経験を繰り返すことで、身についてくると考える。

本単元の一時間目の様子は次のようであった。まず、『すがたをかえる大豆』を教師が読んだ。読み始めから「大豆ってえだまめのことだよ」とか、「まめまきの豆」などと、つぶやきが聞こえてきた。自分の経験と照らし合わせて説明文を読もうとしている様子が見て取れる。読んでいる時には、『いたり、にたり』ってなんのことですか。『私、黄な粉が好き。』「もやしも、大豆なの。」「家庭科の授業みたい。』などのつぶやきが聞こえました。そこで、「いたり、にたり」の言葉を取り上げて、「いる」「にる」などの料理言葉が多い事を確認し、動作の言葉は伝えず、「炒める」「揚げる」「煮る」「蒸す」「いる」動画を見てみてもらった。

「こまを楽しむ」の学習の際に、文章と挿絵を合わせて並び替える授業を行ったことを思い出してもらい、動画を並び替えて、ドキュメンタリー番組を作ろうと提案をした。動画を並び替える、音読でナレーションを入れることを確認した。残りの時間で動画を見る時間を設定したところ、児童は、何をしている動画なのかを考え出した。「これは油が少ないから炒めるだ。」「これは、油がたくさんで、ばちばち行っているから揚げるだ。」「これは鍋を使っているぞ」などの言葉が出てきた。「布は何に使ったの。」「蒸す」の動画の際につぶやいた。動画を見ながら、物の量、使っている物、調理中の音などの情報を得ながら児童は判断をしている。このように、児童は、自分の経験と照らし合わせて、文章を読んだ入り言葉を理解したりしている。「臨床の知」という言葉があるように、実際に料理をすることが語彙を獲得することに最良の方法かもしれないが、国語科の時間で動画を用いることでどこまでの語彙の獲得が可能なのか、これも今回の授業の挑戦となる。



【七月二十日（木） 二時間目】

動画を見ながら何をしている所か判別し、どの文章を示した動画なのかを選んでいく。

前時の課題提示を受け、文章と動画を確認しながら、何をしているのかを判別していった

児童から出てきた言葉に関する気づきは、調理動画一（水につける・水にひたす）と調理動画四（水を切る）の違いである。まず、調理動画一は何もしていないからいらぬという言葉がありました。それに対して、「水につけてあるよ」「それならこれ（調理動画四）も似ている。」という事から、調理動画一と調理動画四を比較する時間を設けた。ざる、ボール、水をとる、水をぬくという言葉のつながりから、新しく「水を切る」という言葉を提示しました。すると、「ラーメン」「湯切り」などの関連する言葉が出てきた。辞書的な意味を理解するだけでなく、語彙と言葉のネットワークを拡張することができたといえる。

「蒸す」に関する動画も二つのパターンを載せていた。醤油づくりの過程を工場で撮影してもらったものと、家庭の蒸し器で蒸したものである。児童にとってどちらが分かりやすいか判断して用いてもらうためである。油も水も使わないで、お湯につけるか、お湯に入らずに湯気で調理するかということで、児童が判断している所である。そのなかでも、「いる」と「煮る」を調べている児童が多い。また、画像九（おから）の画像の情報から、これは、おからではないかと予想を立てた。その後、国語辞典で「おから」を調べて、豆腐を作る途中にできるもの、豆乳を出した搾りかすという事で推測している。「呉・絞る・おから・豆乳・豆腐」という順序的な関連性と動画を判断する際に、「次に何ができるか」という見方を獲得している。

他にも「つぶす」という言葉で悩んでいた。調理動画六（石臼で挽く）と調理動画七（すり鉢ですりつぶす）、調理動画九（ミキサーで粉碎する）の動画である。粉碎の文字情報から国語辞典を用いて小さくすることを知り、この三つで悩んでいた。まだ、答えに至っておらず今後の学習で明確にしていく必要がある。

調べ方については、三通り出てきている。一つ目は動画を見てメモをしていくや分かったものから写真を貼っていく方法。二つ目は、文章に沿って最初から並べていく方法。三つ目は、画像を最初に貼ってしまい、その後火を使った調理動画、調理動画とコンテンツの種類で分けて貼っていく方法である。何から始めたらいのか分からない児童には、取り掛かりの方法となると考えて共有化した。この後、活動に慣れてくると方法も変わってくると考えられる。

